

第八次鹿島市総合計画（素案）に寄せられた意見及び意見に対する市の考え方

資料 4

- 1 意見の募集期間 令和7年9月18日～令和7年10月17日
- 2 提出された意見の件数等 2件（意見者数1人）
- 3 提出された意見及び意見に対する市の考え方

No.	ご意見	市の考え方
1	審議委員の皆さま 及び 事務局の皆さま…大変お疲れさまでした。第八次鹿島市総合計画（素案）に関する意見募集（パブリックコメント）がございましたので、意見を記載させていただきます。 「安全・安心なまちづくり」としてよく出来た計画だと思います。この計画書を読んで一言で感想を表すと「守りの計画」という印象です。 昭和30年4万人から人口は減り続け、現在は27千人を切る過去に例のない事態。未知の世界に抗うには「守りだけではなく、攻めと守りの両方の施策が必要と考えます」。故に、攻めの計画がないので「さらに進化する鹿島（ワクワク感）」は感じませんでした。 地域住民が立ち上がって一緒にやりましょう…というような目指す希望が欲しい所です。現段階では、手に取って読みたい部分はどこかと探してしまいました。 現在、私が感じる具体的視点は「経済発展施策の積極的な取組みが薄い」という点です。 （※経済とは、いわゆるお金の話だけではなく「経世済民：人々の幸福や社会全体の安定を目指すことの意」）1から2…ではなく「0から1」の創る政策が、今後の鹿島には必要かと考えます。「10年後、笑顔があふれる鹿島」を創るために、攻めの計画として、具体的ご提案として「新産業の創出」は如何でしょう。 現状の第八次鹿島市総合計画（素案）はこのままとして「新たに付け加える（案）」です。（将来的に「新しい産業創出も検討」…でも良いでしょう。それだけでもワクワクします）	『新しい産業の創出』は大いなる可能性を秘めたものとして、地域経済への貢献のみならず明るい将来を照らしまちの魅力向上につながるものであり、市としてもその探求・創造への支援は取り組むべき施策と考えます。 つきましては、基本計画第3章内の本章で取り組む重点施策や課題⑥の一部を修正し、「企業・教育機関・地域などと連携し、多様な学びの提供や地元企業への就職希望者増加への取組など、地域独自の魅力向上や新たな産業の創出を目指します」と改めます。

No.	ご意見	市の考え方
2	◆...新産業創出（具体的には、例えば...①ロボット産業 や ②宇宙ビジネス です） ①鹿島はもとよりものづくりの町であり、世界に秀でた技術者がいます。また、人口減少で働き手も減少し、更にデジタル技術の発展により、今後は「ロボット産業」の発展が見込まれます。（10年後10兆円（鹿島市一般会計予算の600年分）の市場） ②更に宇宙産業です。ロケットを打ち上げる…という事ではございません。「宇宙食」です。鹿島で採れる米、麦、野菜、海産物などです。宇宙食産業への挑戦は現在、佐賀県庁も取り組んでいます。まだまだ現在の市場は小さいですが、もちろん今後の大きな経済の成長分野と考えます。 現状の計画は良く出来ていると思いますが、後は、もう一つ大事なアクセントとして「攻めの政策」が必要かと考えます。特に、上記例の2点でなくても、更に魅力ある、鹿島なら出来る、鹿島だから出来る産業であれば拘りもありません。手に取って読みたい、地域住民が一つになって立ち上がりワクワクするような、そんな尖った積極的な計画が一つ追加されるだけで、更にこの計画の幅の広さや深さ、重みが増します。 10年後、地元でロボットや宇宙の仕事ができる…となると、子供たちの夢もまた広がり、また、鹿島市民だけでなく他の市町や県外からも共感する、或いは興味がある企業や団体が大きな関心を寄せてくれ、企業誘致、延いては人口増加にもつながるのではないかと期待します。 もちろん簡単な事ではありませんが、唐津市のコスメティック構想も既に10年以上前からの取り組みです。一つの大きな取り組みを成し遂げるにはとても長い時間が掛かるとは思います。だからこそ、今から声を上げ市民へ夢・希望を示す必要があるのではないかと考えました。 （追記ですが）…先日、昔の友人との食事会的一幕です。 両親が亡くなり地元の実家売り払う…という人がいました。それも一人ではありません。また鹿島の人口が減っていきます。「あなた自身が戻ってくればいいじゃないか」と話すと「仕事がない」と言います。地元なので帰りたいが…と付け加えられました。寂しい話です。	前述で示す『新しい産業の創出』に対する考え方に従い、基本計画の一部を修正しています。一方で、『ロボット産業』や『宇宙ビジネス』は、新しい可能性を秘めた産業の一つの事例です。第八次鹿島市総合計画では、大まかな施策の方向性を示すものとして策定することを予定しており、個別具体的な事業は極力明記しないこととしています。ご指摘いただいた内容につきましては貴重なご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。